支所・地区 あんなところこんなこと

北房

佐井田城跡

標高332mの山上にある山城跡です。鎌倉時代初期の築城で、文治2年（1186年）源平合戦の功により英賀二十八ケ村の守護となった山田駿河守重英の居城であったといわれています。

その後戦国時代に庄氏の一族植木下総守藤資が城主となり、以来その子下総守秀長、孫下総守秀資へと受け継がれました。

戦乱の続く中、備中北部攻防の中心城で、津々の加葉山城と連係し、要害堅固な備中三名城のひとつとたたえられました。

下の写真は昭和61年当時北房町商工会青年部が佐井田城の歴史を学び、当時に想いを馳せながら製作した模型です。この模型は「北房ふるさとセンター」に展示されています。

【北房ふるさとセンター】
・場　所　真庭市下呰部623―1
・開　館　日　毎週　水・土曜日
・開館時間　午前10時～午後5時
・入　館　料　無料

落合

受験生　必見！ 箸立天満宮

真庭市垂水に合格祈願の天神様として知られている箸立天満宮があります。受験シーズンには多くの受験生やその家族で賑わいます。

箸立天満宮境内にある御神木「伊吹ヒバ」は、根元周り7m、幹周り4・72mの大木で推定樹齢八百年から千年といわれ、県指定天然記念物になっています。

「伊吹ヒバ」は天安2年（858年）に菅原道真が、長岡庄を経て高田庄へ旅する途中立ち寄った際に、昼食に使った箸を立てたものが育ったと伝えられています。

受験生の皆さん、一度訪れてみてください。きっとご利益がありますよ！

学業成就
子授け
安産
合格祈願

久世

大津神社（余野の大津さん）

正平四年霜月八日に信州戸隠神社から分霊を奉祀したと伝えられる。勧請創建年月は不詳であるが、当初は神狩地内に、次に余野上字宮原地内に鎮座し、現在地にと奉斉されている。現在の本殿が江戸末期、元禄十一年（一六九八年）に建立と言われているので、その時代に現在地に鎮座したものと思われる。

古来から大津大明神と称し、開運・農業・商工業・諸芸能上達・結婚・病気・一家和合等諸方面に霊験あらたかであり、福運を授ける神として、全国に崇敬者をもっている。

神社全体が真庭市指定文化財となっている。

【主祭神】
天手力男之命（あまのたちからおのみこと）
●大津神社社務所
真庭市余野下七二八
電話　〇八六七―四二―〇五二三

勝山

今年十四回目を迎える「勝山のお雛まつり」

桃の節句を祝って町並み保存地区から新町商店街の約1km区間の民家や商家の軒先や道沿いの部屋々に趣向をこらしたお雛様が飾られます。江戸時代の貴重なお雛さまから、かわいい手作り雛まで、160軒の家々が自慢のお雛さまを公開します。

伝統的な美しさと遊び心を散りばめた勝山ならではの暮らしの美学。訪れる人をふわっと包み込んでくれる、ぜひ勝山に足を運んでいただき、その魅力をご堪能ください。

今年の開催期間は3月2日（金）より6日（火）までの5日間。

美甘

二本杉と六地蔵

美甘の宿場街から、湯原に向かう県道を登っていくと、頂上の篠ケ畝に到着します。

頂上の道の左手に、六地蔵をまつり、その背後に二本杉が立っています。

出雲街道が整備される以前、播州から山陰に通ずるには、鍋屋（久世）から三坂峠（久世）を超して、釘ぬき（湯原）から土井（湯原）に出るのが重要な道筋で、土井から四十曲峠に至る間にある篠ケ畝は、旅人の格好の休み場所だったと思われます。

遠い昔から道中の安全を願い、六地蔵は交通手段が変わった今もなお静かに見守っています。

蒜山

中和神社

今回は、蒜山は中和地区から中和神社をご紹介したいと思います。

古くから「くるまどさん」の愛称で親しまれ、牛馬の守護神として崇敬され、今なお山陰方面からの講参りが今日まで続いています。棟札によれば現在の本殿は明治4年の建築となっています。

主祭神の久那止神は伊邪那岐命が、亡くなられた妻（伊邪那美命）を慕い給い死人の国を訪れられた時に、多数の魔神に追われて急ぎ逃げ帰られた際に黄泉津平坂に於いて「ここよりこちらには来るなかれ」と、大きな岩にて道を塞いだ古事があり、この時の岩をつかさどった神が即ち久那止神といわれています。古来より牛馬守護の神としてはもとより、魔除け、厄除け、道中安全の神として信仰されています。

また、中和神社は小惑星探査機「はやぶさ」と深い結びつきがあります。

小惑星探査機「はやぶさ」担当チームの責任者は、地球に帰還できない危機に際し、重要部品と同じ文字を冠した中和神社を参拝、お札をはやぶさの管制室（神奈川県相模原市）にまつって成功を祈願していたそうです。

「はやぶさ」のその後の成功は言うまでもありません。

このように、中和神社には、様々なご利益があるのかもしれません。

湯原

社地区（やしろ）・佐渡良（さわら）の大杉

延喜式式内社（えんぎしきしきないしゃ）の佐渡良（さわら）・形部（かたべ）神社の境内に聳（そび）える杉の老大木で、県下では五番目の巨木です。根周り10・7m、高さは43mを超します。幹の根元は谷川を横切って根を張り、上部は6本の大枝に分かれ樹勢まだ旺盛で樹齢推定900年余、地元の人々には千年杉と呼ばれており、真庭市指定文化財・天然記念物に指定されています。

また、この社地区には美作地域の神社・式内11社の内、8社が集まっていることでも知られています。

2003年にはNHK大河ドラマ「武蔵　MUSASHI」のロケシーンとして、関ヶ原の合戦から帰って来た武蔵が作州宮本村で、沢庵和尚に捕まり大杉に吊されているところを、お通が縄を切って逃がすシーンなどが撮影されました。

新庄

土用ダム（どようダム）

土用ダムは、新庄村字土用旭川水系の支流・土用川に建設されたダム。

高さ86・7m、ダム形式は、土砂や岩石を高く積み上げて築く、ロックフィルダム（中央土質遮水型）で、中国電力の発電用ダムである。

同社の大規模揚水力発電所、中国山地を挟んで向い側となる鳥取県日野郡江府町にある俣野川（またのがわ）ダム発電所の上池を形成し、下池・俣野川ダム湖（猿飛湖）との間で水を往来させ、最大120kwの電力を発生する。中国電力の水力発電所としては最大規模である。